

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	らじえむ				公表日	2025年3月11日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		パーティション等を活用し、1人になれる場所も設けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		子どもの様子や状態に応じて、支援員が個別で関わることができるようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別で過ごしたいと希望があれば、パーティションで空間を仕切る・別室でスタッフが対応するなどを行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			全スタッフ集まる時間を取れず、全員に周知はできていないと思うので、その時間の確保が課題です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者向け評価表の集計結果を定期ミーティングの際に職員間で共有し、改善すべき点が指摘されている場合は優先順位を定めて改善に取り組むこととしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		月1のミーティングや療育終了後などで業務についての悩みや困りごとを話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		今後、法人全体として第三者による外部評価を採り入れることを検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	現在作成中であり、令和7年4月に法人Webサイトにて公表を予定している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフで集まり、子どもの課題や支援方針について話し合う場を設けている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			対応など共通認識はしているが、それを標準化されたツールに起こせていない。標準化ツールに起こすことで、新入職員に説明がしやすくなるため改善が必要だと思う。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		活動に子どもの意見（作ってみたい料理や工作など）を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	らじえむ		公表日		2025年3月11日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員が同席していなかった利用日の出来事をすぐに共有する体制が整っている。	時折、打ち合わせが出来ていないことがあるため改善が必要だと思う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	らじえむでは、未就学の16歳以上18歳未満の子どもの対象としているため、保育所等との支援内容等の情報共有はありません。	現在、児童発達支援の利用者がいないため、課題などはありません。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	利用されている子どもが就学（高校進学）へ移行する際には、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	現在、児童発達支援の利用者がいないため、課題などはありません。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。		○		法人内のスーパーバイザーより助言や研修を受けているが、今後、外部機関からのスーパーバイザーも検討していきたい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	らじえむでは、未就学の16歳以上18歳未満の子どもの対象していますが、放課後等デイサービスの利用者など、他の子どもと活動できる機会があります。	現在、児童発達支援の利用者がいないため、課題などはありません。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		必要に応じて保護者と面談を行い、子どもの課題や悩みを聞き、助言を行っている。	
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者交流会を開催している。		
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			年2回はできるよう開催数を増やしていけるよう、年間計画に入れ込むような改善が必要だと思う。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagramを用いた情報発信をしている。		

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	らじえむ		公表日		2025年3月11日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		事前に児童ごとの写真同意書の確認を徹底し、個人情報に配慮する取組みを行っている。	
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			こもれび文化祭などの告知活動をもう少し広範囲に行うなどの改善余地があると思う。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		療育室にファイリングした各種マニュアルを常備しており、設定活動などの中で訓練を実施している。	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		<input type="radio"/>	医師の指示書に基づく対応ではないが、クッキングなどのイベント時には、保護者との綿密なやりとりのもとに対応している。	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		新規契約やモニタリングの際に、安全計画に基づく取組内容について周知している。	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>				